

## 新年のごあいさつ

青森県身体障害者福祉協会

会長 山田金治



新年あけましておめでとうございます。

皆様には良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、国は、2020年に開催されるパラリンピック競技大会が、共生社会の実現に向けて人々の心の在り方を変える絶好の機会として「ユニバーサルデザイン2020年行動計画」を示し、「ユニバーサルデザインの街づくり」「心のバリアフリー」を推進しています。

心のバリアフリーは、幼少期からの多様性を認める教育、障害理解と社会モデル教育の推進とともに、障害当事者が必要とする配慮について積極的に発信することが大切とされています。

県身協は、会員減少が進み、組織強化をどのように進めるかが課題となっております。

新たな会員獲得のために地域での活動を着実にを行うとともに、市町村や関係団体と協力、連携し組織強化を目指します。

終わりになりますが、会員皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

## 第43回青森県身体障害者福祉大会・八戸大会を開催

平成29年10月22日、八戸市南郷文化ホールにおいて、第43回青森県身体障害者福祉大会・八戸大会を開催しました。県内各地より250名余りの参加がありました。

まず、開催に先立ち、今大会で知事表彰を受賞された大久保友芳様によるシャンソン、石澤春斗様による舞踊が披露され、会場から大きな拍手が湧き上がっていました。

式典では、長年にわたり障害福祉に貢献された方々、昨年度、岩手県で行われた全国障害者スポーツ大会において優秀な成績を残された方々へ知事表彰、会長表彰が授与されました。

その後、大会宣言と大会決議が提案され、満場一致で承認されました。

ご多忙中にも関わらず多くの方にご参加していた



だき、おかげさまで大成功のうちに大会を終了することができました。

来年度は、弘前市での開催となります。多くの方々のご参加をお待ちしております。

### 要望事項

- 1 「障害」は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創りだされるものであり「障害の社会モデル」の普及に努めていただきたい。
- 2 障害者差別解消に向けた具体的な取組を実施するとともに地域の実情に即した条例を制定していただきたい。
- 3 全県をあげて、市町村身体障害者福祉会の活動が活性化されるよう、行政や地域社会福祉協議会などの関係団体の支援をいただきたい。
- 4 身体障害者相談員が県内全市町村に配置され、相談支援の充実が図られるよう強力に推し進めていただきたい。
- 5 障害者の社会参加の拠点である「ねむのき会館」の老朽化に対応した改築と、ねむのき会館事業の充実を図っていただきたい。